

字幕と吹き替えの翻訳傾向

——韓国映画の日本語翻訳を中心に——

金 銀 英

Japanese translation of Korean films:
Current trends in subtitles and dubbing

by
Kim Eunyoung

要旨

本稿は日韓翻訳研究の一環として、韓国映画の日本語版に見られる翻訳傾向を探ることを目標としている。映画翻訳研究の手始めの作業として『택시운전사【タクシー運転手 約束は海を越えて】』を調査対象に字幕翻訳と吹き替え翻訳の特徴を探り、比較を行った。

字幕と吹き替え両方とも省略と意識が多く見られ、その原因はそれぞれ字数制限と効率のいい内容伝達を意図したためであった。字幕は原音があつ多くの情報をそぎ落とし要点のみを伝える翻訳方法を取り、吹き替えは、内容はもちろんのこと俳優の癖までも充実に伝える翻訳方法を取っており情報の追加は見られなかった。韓国映画の日本語翻訳で注目したいのは敬語表現の削除であり、韓国語原音が表していた人間関係の親疎が削られる結果となっていた。

この分析は、現在手つかず状態である日韓映像翻訳研究の基礎的研究であり、日韓翻訳研究及び映像翻訳研究に発展させたい。

キーワード：字幕翻訳、吹き替え翻訳、韓国語からの翻訳、敬語と人間関係

1 はじめに

韓国映画の世界的な評価が高まる中、近年多くの韓国映画が日本で公開されるようになった。韓国で興業成績が良かった作品や話題の作品は韓国公開1年後ほどになると、日本の映画館やブルーレイ等のソフトで見ることが出来る。また、OTTサービスの拡大と共に広がりを見せるいわゆる「第4次韓流ブーム」で日本に紹介される韓国映像作品はさらに増加傾向にあ

る。これらの作品は日本語字幕がついており、近年は字幕に加え日本語吹き替えも増えてきた。

翻訳研究において映像翻訳は研究対象として注目されてきたが、その多くは映像を活用した外国語教育に関する研究であり、翻訳に関する実証的研究は少ないのが現状である。字幕と吹き替えの翻訳における比較研究はさらに少ない。その数少ない研究も英語圏映画の日本語翻訳がほとんどで、韓国の映像を対象にした研究は管見ではない。

このような現状から本稿では翻訳研究としての映像翻訳、とりわけ韓国映画の日本語翻訳を研究対象にその翻訳の特徴を探り、比較を行うことで映像翻訳の傾向を分析する。

2 先行研究

モナ・ベイカー（2013）によると、映像翻訳は翻訳の中でも特殊な分野として扱われる。小説などの紙媒体の翻訳とは異なる点が多いためである。映像翻訳はマルチモード型でテキストを他の言語に換える作業である。起点テキストを目標テキストに換えるに当たって、小説は言語から言語への転換作業であるが、映像物は言語、映像、音楽、色彩、視点など様々な要素が翻訳に関わる^{注1)}。

字幕翻訳は映像翻訳の最も古い形で、音声を文字へと形が変化する異種記号タイプの翻訳である。日本の字幕は初めて紹介された字幕付き映画『モロッコ』（1930）を出発点に字幕翻訳のルールが決まったとされている。日本語字幕のルールは1秒に3～4文字、縦字幕で1行12字、最大2行までとなっている。近年増えたテレビやDVDの横字幕でも1行15字前後、最大2行までである^{注2)}。映像と経過時間、観客・視聴者の視覚情報処理能力、画面を邪魔しない字幕の位置から割り出されたこのルールを守るため、字幕翻訳者は原発話の削除や凝縮、改変などを行うことになり、結果元のセリフの多くが失われるとされている^{注3)}。字幕翻訳者は個々の話の意味より発話の全体的なコミュニケーション上の意図を優先し翻訳作業をする。窪田（2000）では、字幕翻訳は逐語訳が不可能な場合も多く、意図的な意識がなされるとしている^{注4)}。

一方、吹き替え翻訳は、起点言語の音声为目标言語の音声に換える同種記号タイプの翻訳であり、映像と音声の同期性の要求が大変高い。つまり字幕翻訳における文字に制限されることはないが、話すペースや口の動きなどを合わせるという映像による制限がある。しかし、字幕翻訳よりは自由度が高いため、オリジナルの音声には含まれていない情報を入れることもできる。起点言語の文化についての補足説明も可能である^{注5)}。

また、字幕翻訳は翻訳終了後、字幕スーパー作業はあるものの翻訳者のフィルターが直接観客・視聴者に届くことに対し、吹き替えは声優の演技という、もう一つのフィルターが加わっ

て観客・視聴者に届くという点が異なる。吹き替え翻訳は古くからの翻訳に比べると、マルチモードに左右され、関わる制限も独特であるが、他の翻訳に比べて観客や視聴者、つまりターゲットに伝えられる情報量が時間に対して非常に多い。梁瀬（2013）でもこのことは明らかになっている。梁瀬は英語圏映画を対象に日本語の字幕と吹き替え翻訳について調査した。文字数と音節数で比較を行った結果、その比率は字幕と吹き替え両方とも字幕：吹き替え＝4：6であり、吹き替えの情報量が多いとしている^{注6)}。

以上の先行研究から韓国映画の日本語翻訳においても字幕より吹き替えの情報量が多いことが予測される。字幕翻訳では文字制限のもとどのような翻訳方法が取られているのか、吹き替え翻訳では情報伝達のためにどのような手法を取るのか、実証的な資料をもとに分析を行う。

3 調査対象と用例の収集

調査の対象選定に当たり、まず翻訳者情報が明示された作品から選ぶことにした。近年の韓国映像作品はいわゆる「ファン翻訳」も多く、それらを対象にする研究もあるほどである。しかし、ファン翻訳だと翻訳のおける質が保証されておらず、本研究のように翻訳の傾向を探ることを目的とする研究には適しない。今回の調査では上映や放送もしくはソフト化されたことで翻訳の質が確保されたと見なし、さらに翻訳者が明示された作品から候補を選んだ。

さらに時代背景が現代であり字幕翻訳と吹き替え翻訳両方ある作品から探すことにした。時代背景が古いと原作における言い回しもそれに準ずることになり、翻訳において更なる翻訳手法が加わることになる。古い言葉遣いをどのように翻訳するかはとても興味深い考察対象であるが本稿は映画翻訳の一般的傾向を分析することを目標とするため、時代背景を現代に限定した。また近年の翻訳傾向を探ることが目的であるため近年公開された作品から調査対象を選んだ。さらに、情報伝達のための手法を見るため、鑑賞において韓国に関する知識を要する作品を優先した。

上記の理由から、本稿で調査対象にしたのは韓国映画『택시운전사』である。

日本タイトル『タクシー運転手 約束は海を越えて』

監督：チャン・フン / 時間：137分

公開：韓国2017年8月、日本2018年4月

字幕翻訳：神田外国語大学 / 字幕監修：本田恵子

吹替え翻訳：江波智子

用例収集と翻訳方法比較のため次の手順を取った。

- ①韓国語原音の文字起こし — 原作の内容把握
- ②日本語字幕 — 原音の文字起こしと日本語字幕を上下に1対1比較
- ③日本語吹き替えの文字起こし — 原音の文字起こしと上下に1対1比較
固有名詞はカタカナで文字起こしを行った
- ④字幕と吹き替え文字起こしの比較 — 字幕、吹き替えの1対1比較

収集の例を示す。なお、それぞれの括弧と記号が示すのは次の通りである。

[] セリフ番号と配役、(原)：韓国語原作、(字)：日本語字幕、(吹)：日本語吹き替え、
〔 〕：筆者による日本語逐語訳、【 】：韓国語の音をカタカナ表記、/：字幕における改行

<例1> シーン23

- | | |
|------------------|---|
| 〔15
マン
ソプ〕 | 原) 제가 <u>지금</u> 김포 공항에서 오는 길인데 <u>요</u> ,
〔私は <u>今</u> 金浦【キムポ】空港から来たところ <u>です</u> が〕
字) 金浦空港から来ました。
吹) 俺はキムポ空港から来ました。 |
| 〔16
マン
ソプ〕 | 原) 저 양반이 디기 높은 비즈니스맨인데, <u>근데</u> 미국을 가는 비행기를 타려고 보니까
〔あの人はとても偉いビジネスマンで、 <u>ところが</u> アメリカに行く飛行機に乗ろうとしたら〕
字) 彼がアメリカ行きの / 飛行機の乗ろうとしたところ
吹) この人はえらいビジネスマンなんですが アメリカ行きの飛行機に乗り込もうとしたら |
| 〔17
マン
ソプ〕 | 原) 아 중요한 서류를 광주에 두고 왔다 (次の台詞に遮られる)
〔あ、重要な書類を光州【クァンジュ】に置いてきて〕
字) 光州に重要な書類を
吹) 重要書類をクァンジュに忘れた (次の台詞に遮られる) |
| 〔18
軍
人〕 | 原) <u>안됩니다</u> . 돌아가십시오.
〔 <u>ダメ</u> です。戻ってください〕
字) ダメです 戻って
吹) <u>通行禁止だ</u> 戻れ |

収集例のほとんどが<例1>のように字幕も吹き替えも、映画の内容伝達に支障を起こすことのない翻訳であった。字幕と吹き替え両方とも、小説などの出版翻訳でみられる逐語訳は少なく、省略や意識が多かった。先行研究では省略や意識は字幕翻訳に多いとされていたが、吹き替えでも省略や意識が多く見られた。<例1>の場合、波線で示した箇所は省略された例であるが、必ず翻訳しなければならない内容ではないための省略と思われる。また [18 軍人] で二重下線に示したのは意識の例である。字幕は原音の逐語訳になっているが吹き替えは「通行禁止」と逐語訳である「ダメ」の理由を述べる意識している。

では、全 1527 の用例から韓国映画の日本語翻訳の傾向を見てみる。

4 翻訳特徴及び翻訳方法

全 79 シーンから得られた 1527 用例から字幕と吹き替えの翻訳の特徴を述べ、翻訳方法を大きく省略、意識、人間関係の描写の三つに分けて分析する。

4・1 字幕翻訳の特徴

字幕翻訳では、前述した字数制限により省略や意識が多く見られ、また字幕ならではの語順変更が見られた。

省略の場合、오케이【オッケー (Ok)】や맙쥬【サンキュー (Thank you)】など原音でも分かるような外来語や感嘆詞、ため息、笑い声は字幕が付いていなかった。また、韓国語で肯定の返事である응【うん】も日本語のそれを音が類似しているためか字幕が付いていなかった。文字制限だけでなく字幕が無くても内容伝達に支障を来さない場合は俳優の口が動いており声が出ていても字幕をつけない。

次に語順変化である。

<例2> シーン 40

[19 マ ン ソ ブ]		(原)	얼마나 걸리겠습니까? <u>오늘 통금 전에</u> 서울에 도착해야 하는데
			[どれくらいかかりそうですか? <u>今日通行禁止前に</u> ソウルに到着しないと]
		(字)	<u>通行禁止前に</u> / ソウルに戻れますかね?

<例3> シーン2

[14 マン ソプ]		原) 호강에 겨워서 저러는 것들은 싸그리 잡아다가 사우디로 보내야 한다니까 [大事にされてきてあんなことをする奴らは <u>一斉に捕らえて 사우ジに送るべきだ</u>]
		字) 何不自由なく育ったからだ
[15 マン ソプ]		原) 지들이 뿔뿔 끊는 모래사막에서 죽도록 고생을 해 봐야 [あいつらは沸々と茹で上がる砂漠で死ぬほど苦勞してみないと]
		字) いっそ <u> 사우ジ</u> の砂漠で / 苦勞させれば -
[16 マン ソプ]		原) 야 ~우리나라가 정말 살기 좋은 나라였구나 하고 <u>정신들을 차리지</u> [いや~我が国は本当に住みやすい国だったんだと <u>正氣に戻る</u>]
		字) この国に暮らす / <u>ありがたみが分かる</u>

<例2>は倒置法の原音を語順を変えて字幕にしている。

シーン2はデモの為渋滞に遭った主人公マンソプがそこから抜け出すまでのシーンである。連日のデモで売り上げが思わしくなくイライラしている個人タクシーの運転手マンソプは昔サウジアラビアに出稼ぎに行った経験がある。<例3>の[15マンソプ]の下線部サウジは原音だと[14マンソプ]から出ている。しかし[14マンソプ]ですべて字幕処理するには内容が多く、[15マンソプ]に“사막〔砂漠〕”が出るため、[14]から[15]へと続きの台詞ではあるが字幕を跨いだ語順変化が見られた。

意識の例も<例3>で見ることが出来る。[マンソプ16]の二重下線部は内容に沿って分かりやすくした意識である。

省略ばかりではなく、追加もあった。原音でははっきり認識できない音に字幕がついている例である。数多く描写されるデモのシーンや病院の騒然としたシーン、ラジオやテレビのニュースが背景に流れるシーンなどは様々な音が混ざり合うため、原音の意味の判別が難しかった。デモ隊のシュプレヒコールや歌、それに対峙する警察の音、騒然とした場所でのエキストラの声などにシーンに合った字幕が付いていたが、原音だけではなぜそのような字幕になったか分からないシーンもあった。

次に、字幕の付け方に取捨選択があった。道路の標識や看板など音声ではなく映像で伝わる情報において、映画内容とどれほど関連するかで字幕有無の選択がなされることは予想できる。例えば、光州に向かうため高速道路に乗るシーン30の最後に映し出される高速道路の案内標識には、上段が서울-부산 고속도로〔ソウル-釜山 高速道路〕、下段が부산〔釜山〕、

대전〔大田〕になっている。このシーンの字幕は「ソウル-釜山 高速道路」と上段のみで、関連の薄い下段は省略される。しかしすべての有意味な映像情報が字幕になるのではない。シーン 53 は主人公マンソプ が光州から離れ、近隣の순천【スンチョン（順川）】に向かう。映像の韓国語だと画面に映るスンチョンを示す案内標識や高速バスターミナルの看板などでそこが光州ではなくスンチョンであることが分かるが日本公開版では日本語字幕がついてないため、ハングルを知らない日本人はそこがどこか分からない。シーン 56 のスンチョンの地元民の会話でそこが光州ではないことが推測されるようになっているだけである。

映像情報を補う役割をする字幕もあった。シーン 62 ではチラシが映る。映像から読み取れるのは「친애하는 광주 시민에게 알립니다.〔親愛なる光州市民にお知らせします〕」であるが字幕は「市民の皆様 / 外出を控えましょう」になっている。「外出を控えましょう」に該当すると推測される部分は字が小さいため認識できない。背景音化した音声に付いた字幕同様、なぜこのような字幕になったか確認が取れないが映画の流れ上、不自然な字幕ではなかった。

字幕翻訳の多くは先行研究での指摘同様省略や意識の翻訳方法を取っていたが、今回の用例収集では追加の例も確認できた。音声でなく映像で伝える情報においては字幕の取捨選択が行われた例もみられた。

4・2 吹き替え翻訳の特徴

吹き替えは音声から音声へと同種記号の内容伝達であるために字幕より多くの情報を伝えるとされており、今回の収集でも原音の内容を充実に日本語に変換した翻訳例が多かった。字幕では省略されがちだった感嘆詞も吹き込まれており、できるだけ原音を日本語で再現する翻訳になっていた。翻訳方法としては前述した〈例 1〉の〔18 軍人〕で見られるような意識や語順変化がみられた。〈例 4〉は台詞を語順を変えて吹き替えた例である。前述〈例 2〉と同様の翻訳方法をとっている。

〈例 4〉 シーン 16

03 イ 記者	原)	어떻게 개인택시가 오셨네요? 택시회사다 전화했는데
		〔どうやら 個人タクシーが来ましたね <u>タクシー会社に電話したのに</u> 〕
	吹)	<u>タクシー会社に電話したのに</u> なぜ個人タクシーが?

吹き替え翻訳の充実さは細かいところまで至っていた。主役マンソプを演じたソン・カンホは自然体の演技で知られる俳優で、本作品でも自然な台詞回しをしている。特に意味を持たな

이아【ア】、어【オ】を台詞の端々に混ぜ込むが、吹き替えもそれらを充実に再現していた。先行研究でも言及している俳優が話すペースや口の動きに合わせるの吹き替え翻訳の特徴である。

また字幕における追加のような吹き替え例もあった。シーン 14 でマンソプが自分を指さしながら口パクで「나잖아 나 [俺だよ、俺]」というシーンがある。口の動きで「나잖아 나」は読み取れるが音はない。そのため字幕も付いてないが、吹き替えでは「ここ、ここ」と音声が入っている。背景音であるにもかかわらずはっきり分かるよう目立つ吹き替えもあった。食堂で「이모, 거 이모! 여기 1 인분만 더 줘요 [おばさん、あの、おばさん! ここ一人前追加ください]」を「ちょっと すみません」「はい」「あと 1 人前ね」と従業員の「はい」を途中で挟む。ちなみに字幕は「ちょっと おばさん / あと 1 人分追加ね」になっている。このような背景音の追加は字幕同様デモシーンでもよく見られるが、原音では意味の認識が難しかった。

吹き替え翻訳は原音に充実にしており、音声が無いところや音声の内容認識が難しいところまで翻訳されていた。原音での内容認識は出来なかったが映画の流れに沿った翻訳であったため、吹き替え版で映画を鑑賞する場合でも違和感を覚えることはないと思われる翻訳だった。

次からは主な翻訳方法を原音、字幕、吹き替えの三つを並べて分析する。

4・3 省略

字幕翻訳で多く見られる省略方法である。

<例 5> シーン 23

[02 マン ソプ]	마녀 오늘 기사 <u>잘 만난 줄 알아</u> , 어? <u>딴 기사 같았어봐</u> , <u>돈이고 뭐고 벌써 서울 갔지</u> , <u>짜식</u>
原)	〔お前 今日 <u>いい運転手に出会った事は分かっておけよ</u> 、あ? <u>他の運転手だったら</u>
字)	<u>お金でもなんでも (出しだしても)</u> とくにソウルに帰ったさ、 <u>この野郎</u>]
吹)	俺が運転手で <u>よかったな</u> / <u>他の奴なら</u> __ とくに諦めてた __
	おい <u>俺のタクシーに乗ってよかったな</u> <u>他の奴だったら</u> とくにソウルに引き返してるぞ ったく

<例 5>の言音をそのまま字幕につけるには長すぎるため下線部が省略されており、波線部は意識されている。吹き替えは逐語訳ではないが原音に充実した訳になっている。

<例6> シーン23

「22 マン ソブ」		제가 진짜 <u>애국심 하나로</u> 공항에서 여기까지 그냥 밟았다니까
		原) [私は 本当に <u>愛国心一つ</u> で空港からここまで がむしゃらに 飛ばしてきた]
		字) そうなれば / <u>国益</u> が損なわれる
		吹) だから <u> </u> 空港からぶっ飛ばしてきた

省略が字幕翻訳特有の手法でないことが<例6>で分かる。吹き替えでは下線部が省略されているが、字幕では「国益」と言葉を変えて残っている。<例6>は省略されても内容の理解に影響がない例であるが、すべての省略例に当てはまるのではない。

<例7> シーン13

「07 社長」		대신 <u>언제</u> 점검 한 번 받고 가. 들어 올 때 보니 엔진도 골골 하드만
		原) [その代わりに <u>いつか</u> 一度点検受けて行けよ. 入ってくる時見たら エンジンも弱っていたぞ]
		字) <u> </u> 点検してけ / エンジンにガタがきてる
		吹) せめて <u> </u> 点検くらい受けて行けよ エンジンが変な音してた

<例7>の下線部は字幕でも吹き替えでも省略されており、これだと「(今日ではない) いつか」の意味がなくなるため、「今日点検して」と受け取られることも考えられる。省略によって伝達内容が変わった例である。

<例8> シーン42

「15 ファン」		아이고 거 얘기 하자면 길어. 거 밥은 있지?
		原) [アイゴ それ 話す と長いよ. あの ご飯はあるだろう?]
		字) 話す と長くなる 飯は?
		吹) 話す と長くなる 飯は?
「16 ファンの妻」		아 밥은 있는데 반찬은 그시기 한디
		原) [あ ご飯はあるけど おかずは ちょっとあれだけだな]
		字) おかずがないわ
		吹) ご飯はあるけど おかずがないわ
「17 ファン」		아이 <u>갓김치</u> 있으면 됐지 뭘
		原) [ああ <u>芥子菜キムチ</u> さえあればいいよ]
		字) <u>キムチ</u> で十分だ
		吹) <u>キムチ</u> があれば 十分だ

<例8>は、光州市民であるファンがその日に知り合った主人公たちを自宅に連れ帰るシーンでの台詞である。ソウルに帰る予定が車の故障で光州に泊まらざる得なくなった主人公たちを連れ、夜遅く帰宅したファンが迎えに来てくれた妻に夕飯の用意ができるかと尋ねる。お客さんに振る舞うおかづがないと困る妻に対し、「자김치 (芥子菜キムチ)」があれば十分と答えるファンであるが、字幕も吹き替えも「자 (芥子菜)」を取った「キムチ」と訳している。芥子菜キムチは光州が位置する韓国西南部を代表する名物キムチである。常備食ではあるが、他所から来た人に振る舞える自慢のキムチである。続くシーン43で客人たちに真っ先に勧めるほど芥子菜キムチに自信があるファンであるが、芥子菜キムチの特別さが分からない日本の観客にはファンの客人への気持ちが伝わりにくいと思われる省略であった。

4・4 意識

<例9> シーン 25

[24 デ モ 隊 1]	原) 그 재식이 니 영어 쪼간 되잖애? [あの ジェシク お前 英語少し出来るだろう?] 字) ジェシクは英語ができたよな 吹) おおい ジェシク お前 英語できるよな?
[25 デ モ 隊 2]	原) 잉 재식이 [そう ジェシク] 字) ジェシク 来いよ 吹) おお ジェシク 来いよ
[26 ジ ェ シ ク]	原) <u>팝송이나 부를 줄 알지 뭐</u> [ポップソングを歌うくらいだよ] 字) <u>やめろって</u> <u>なんで俺が</u> 吹) <u>なんで俺が</u>

<例9>はドイツ人記者と遭遇したデモ隊が、コミュニケーションを取ろうと英語を話せる者を探すシーンでの台詞である。その後の展開で分かるように、ジェシクは英語が得意であるが、<例9>では照れくさそうにしている。原音ではポップソングが歌えるだけと照れくささを隠しているが、翻訳は字幕と吹き替え両方とも謙遜している意識になっており、日本人のコミュニケーションの取り方に寄せている。

<例 10> シーン 31

「19 シ ン」	原) 어물전 망신은 미꾸라지가 시킨다고 [魚屋の恥さらしはイダコというが]
	字) 思い知らせてやる
	吹) タクシー運転手の <u>面汚した</u>

「20 シ ン」	原) 이 참에 이런 택시는 버릇을 확 고쳐붙야제, 안그요? [これを機にこんなタクシーは叩き直さないと、違いますか]
	字) こういう運転手は叩き直してやらないとな そうだろう?
	吹) 運転手の <u>風上にも置けない奴だ</u>

映像翻訳のみならず他ジャンルの翻訳でも意識されやすいのがことわざである。<例 10> は「出来の悪い人間ほど仲間に迷惑をかける」との意味で使われる韓国のことわざであるが、これらをそれぞれ「風上にも置けない」や「面汚し」と意識している。シーン 34でも「금강산도 식후경 [金剛山も食後の見物]」ということわざが出ており、「花より団子」と日本語翻訳される場合が多いが、このシーンはデモに向かうシーンであるため内容に合わせて字幕も吹き替えも「腹が減っては戦ができぬ」と翻訳している。

ことわざのように外国の特有の文化や例えばは意識や追加の翻訳方法を取りやすいが今回の収集では追加の例は見る事が出来なかった。「부처님 오신날 [灌仏会]」を「祝日」に、軍の操作諜報機関である「보안사 [保安司]」を「軍司令部」に意識していた。

<例 11> シーン 8

「20 ウ ン ジ ョ ン」	原) 상구가 먼저 괴롭혔단 말이야 [サングが先に <u>いじわる</u> したんだよ]
	字) サングが <u>悪口</u> 言ったの
	吹) サングの方が 先に <u>悪口</u> 言った

映画の序盤であるシーン 6で、帰宅したマンソプがおでこに傷を負っている娘にその経緯を尋ねるが娘ウンジョンすぐには答えず、シーン 8でやっと<例 11>のように答える。原音は「いじわる」としか答えておらず、喧嘩に至った具体的な理由は分からないようになっているが、翻訳は「悪口」になっている。これは映画終盤のシーン 74によるものと考えられる。光州からの帰りが遅いマンソプを待っているウンジョンをサングは、貧乏の余りマンソプは逃げたんだろうと、からかい始める。そのためウンジョンからゲンコツを食らったサングがウンジョンと喧嘩を始めようとするがサングの母親に止められる。これらの描写から日頃からサングの挑発に乗ってしまうウンジョンが予想できる。

4・5 人間関係の描写

<例 12> シーン 8

[06 ウン ジョン]		原) 그 신발 이제 작단 말이야. [その靴 もう 小さいの]
		字) 靴が小さいの
		吹) その靴 もう小さいの

[07 ウン ジョン]		原) 저녁 드세요 [夕飯 召し上がってください]
		字) 食べるよ
		吹) ご飯だよ

[06 ウンジョン] で分かるように、普段父親とタメ口で会話をするウンジョンであるが、[07 ウンジョン] では韓国の習わしに従って敬語を使わなければならない場面ではきちんと敬語で話している。このことからウンジョンは男手ひとつで育てられてはいるがしっかりとつけられていることが分かる。しかし子どもが親に敬語を使うことが韓国ほど厳しくない日本だと [07 ウンジョン] が急に敬語になると違和感を覚えるだけである。

<例 13> シーン 7

[03 サン グの 母]		原) 은정 아버지, 마침 잘 <u>오셨어요</u> [ウンジョンのお父さん、ちょうどいいところに <u>来られましたね</u>]
		字) いいところに <u>来たわ</u>
		吹) あらあら いいところに <u>来たわね</u>

[04 サン グの 母]		原) 이거 이거 <u>어떻게 하실 거예요?</u> [これ これ <u>どうするおつもりですか</u>]
		字) この傷 <u>どうしてくれるの?</u>
		吹) この傷 <u>どうしてくれるの?</u>

敬語は親子関係だけでなく、大人同士の人間関係も表す。子ども同士が喧嘩をしたウンジョンの父マンソプにサングの母は<例 13>のように問いただす。原音でもサングの母が話す内容は厳しい内容であるが、夫の友人でもあるマンソプに敬語を用いてそれなりの礼儀を払っている。しかし日本語訳ではすべての敬語は省略され、話す内容通りの厳しい口調になっている。

しかし、<例 12>や<例 13>で見られるようにすべての敬語や省略されているのではない。

<例 14> シーン 47

「23 私服 組長」	原)	뭐가 현명한 선택인지 잘 판단하시길 바랍니다 〔何が賢明な選択であるか <u>よく判断することを願ってます</u> 〕
	字)	何が賢明な選択か <u>よく考えろ</u>
	吹)	何が賢明な選択か <u>よく考えてください</u>

<例 14>は主人公たちを追って来た私服軍人が彼らに警告するシーンである。字幕ではぞんざいな言い回しになっているが吹き替えは敬語を残し、緊迫している状況で情け容赦ない相手が絶体絶命の瞬間にあえて丁寧な言葉遣いをする不気味さを際立たせている。

5 結び

字幕翻訳では削除や語順変化が多く見られ、これらは先行研究でも言及している通り文字数制限によるものが多かった。しかしい追加や映像情報を補う字幕も見られたことから、字幕の取舍選択の傾向を調べる必要性を感じた。今後の課題として残したい。吹き替え翻訳はできるだけ原音に近寄せる翻訳をしていた。先行研究では言及されなかった、音声のない場面でも吹き替える追加翻訳例も見られた。字幕、吹き替え両方とも省略と意識が多く見られ、その原因はそれぞれ字数制限と効率のいい内容伝達を意図したためであった。省略や意識は字幕と吹き替え両方で見られる翻訳方法であっても音声から文字へ、音声から音声へのそれぞれの特性に基づく翻訳がなされていた。さらに他ジャンルの日本語翻訳でよく見られる敬語を省略する翻訳が映像翻訳にも見られ、その多くが敬語が省略されることで敬語が持つ意味合いもそぎ落とされる結果になっていた。敬語が担っていた人間関係の親疎が削られる翻訳になっている。

この分析は、現在手つかず状態である日韓映像翻訳研究の基礎的研究であり、日韓翻訳研究及び映像翻訳研究に発展させたい。

参考文献

- (1) モナ・ベイカー他：『翻訳研究のキーワード』，研究社，2013
- (2) 島田洋子：翻訳であって翻訳でない字幕翻訳，聖学院大学総合研究所 Newsletter Vol.1. 19-3, pp2-3, 2009
- (3) モナ・ベイカー他：前掲注 (1)
- (4) 窪田守弘：映画字幕の翻訳分析，映画英語教育研究，5, p.3-13, (2000).
- (5) モナ・ベイカー他：前掲注 (1)
- (6) 梁瀬みき：字幕と吹き替えの比較，日本文学（東京女子大学），109, pp.127-143, (2013).